

令和2年度 奥浦小学校 学校評価集計（1学期）

4 よく あてはまる 3 どちらかというと あてはまる 2 どちらかというと あてはまらない 1 まったく あてはまらない

	キーワード	項目	評価				
			保護者	児童	教職員	関係者	
学校経営	1 教育目標の具現化	学校は、学校教育目標「伸びる子」に向け、一人一人のよさや可能性を伸ばしている。(自己肯定感)	3.5	3.6	3.8	0.0	○児童と教職員は昨年度より0.1ポイント上がった。 ●保護者は昨年度より0.1ポイント下がった。今後、さらに一人一人の子どもをよさを称賛し、自信をもたせる。
	2 学校の雰囲気・活力	学校は明るく笑顔があふれている。	3.5	3.5	3.2	3.6	○関係者は昨年度より0.1ポイント上がった。 ●保護者と児童は昨年度より0.1ポイント、教職員は0.2ポイント下がった。さらなる信頼関係の構築が必要。
	3 地域とともにある学校	学校は、地域とともにある学校づくりを推進し、奥浦を愛する子供を育てている。(郷土愛)	3.6	3.7	3.8	3.7	○児童は0.3ポイント、教職員は0.1ポイント、昨年度より上がった。地域との連携が密であることを意識している。
やさしく(愛いっぱい)	4 思いやり	奥浦小の子どもは、相手の立場に立って考え、行動できる。(関わる力)	2.9	3.4	3.7	0.0	●保護者の評価が低い。相手の立場に立つ、思いやりの心を持つという点での指導が求められる。学校だけではなく、家庭・地域でも協働して即時則場の指導を継続して行っていく必要がある。
	5 3つの本物「あいさつ・返事」	奥浦小の子どもは、「いつでも」「どこでも」「だれにでも」気持ちのよいあいさつや返事ができる。(3つの本物「あいさつ・返事」)	3.0	3.4	3.4	3.3	●保護者・児童・教職員が昨年度より0.1ポイント下がった。学校・家庭・地域の協働による指導が必要。大人がまずは後ろ姿で手本を示す。
	6 3つの本物「履き物そろえ」	奥浦小の子どもは、「いつでも」「どこでも」履き物をきちんとそろえることができる。(3つの本物「履き物そろえ」)	2.8	3.5	3.6	0.0	○児童は昨年度より0.1ポイント、教職員は0.2ポイント上がった。 ●保護者は昨年度より0.2ポイント下がった。まずは家庭でのしつけが不可欠である。保護者・地域との協働が必要。
	7 3つの本物「きっかり時間」	奥浦小の子どもは、「いつでも」「どこでも」時間をしっかり守ることができる。(3つの本物「きっかり時間」)	3.0	3.2	3.3	0.0	●保護者と児童は昨年度と同じ。教職員が0.2ポイント下がっている。まずは、学校・家庭・地域において、大人が時間をしっかり守ることが大切である。
	8 いじめのない学校	学校は、いじめ防止のための対策をとって子供の悩みや相談に適切に対応し、いじめのない学校づくりをしている。(安心・安全)	3.1	3.9	4.0	0.0	○児童は昨年度より0.2ポイント、教職員は0.3ポイント上がった。 ●保護者は昨年度より0.4ポイント下がった。積極的な生徒指導と保護者への周知が必要。
かしこく(夢いっぱい)	9 分かりやすい授業	学校の職員は、一人一人に応じた分かりやすい授業を行っている。(基礎学力)	3.3	3.9	3.9	0.0	○児童と教職員は昨年度より0.1ポイント上がった。ほとんどの子どもが授業が分かりやすいと感じている。 ●保護者が昨年度より0.3ポイント下がっているのは、授業の様子を参観できていないことが要因と考える。
	10 自ら学ぶ力	奥浦小の子どもは、めあてに向かって主体的に取り組んでいる。(自己学習力)	3.3	3.5	3.9	0.0	●教師が昨年度より0.2ポイント上がっているのに対して、児童は0.1ポイント下がっている。考えのずれからめあてを設定するなど必要感のある学習課題となっているかという視点での教材研究が必要である。
	11 家庭学習	奥浦小の子どもは、家庭学習が習慣化し、毎日家で勉強している。(向上心)	3.4	3.7	3.8	0.0	●児童と保護者は昨年度と同じ。教職員が0.2ポイント下がっている。臨時休業の対応等で、計画的・継続的な家庭学習の取組が難しかったと考える。今後、個別の内容や家庭と連携した家庭学習を展開する必要がある。
	12 表現力	奥浦小の子どもは、自分の考えや思いを相手に伝えることができる。(伝える力)	3.0	3.4	3.6	3.1	●一般的に評価が低く、特に地域関係者の評価が低い。自分の考えを持つことができるようになってきているので、失敗したくないという気持ちの軽減と、伝えることの大切さを指導していく。
たくましく(元氣いっぱい)	13 体力向上(自己学習力)	奥浦小の子どもは、運動に積極的に取り組んでいる。(自己学習力)(向上心)	3.4	3.6	3.4	3.5	○児童の評価が高いのは、外遊びをする児童が多いということを受けてのものと思われる。その一方で室内遊びを好む児童が固定化している。好天の日には外で遊ぶことを促す必要がある。
	14 生活習慣	奥浦小の子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付いている。(向上心)	3.2	3.3	3.4	0.0	●一般的に評価が低い。基本的な生活習慣は、学力を支える土台である。睡眠・朝ごはんの大事さを児童・保護者に伝えていく必要がある。家庭での保護者の働きかけを活性化し手立て・工夫を講じていく。
	15 健康安全	学校は、子供が自ら健康や安全に気をつけて過ごす力を身に付けさせようと努めている。(安心・安全)	3.4	3.7	3.8	0.0	○保護者と児童は昨年度と同じ。教職員が0.1ポイント上がった。
	16 根気強さ	奥浦小の子どもは、根気強くやり通す力が付いてきている。(向上心)	3.2	3.4	3.7	0.0	●保護者は昨年度と同じ。児童と教職員は0.1ポイント下がった。
信頼される学校	17 美しく整備された学校	学校は、校舎内外の美化や子供の安全に気を配り、教育環境が整備されている。(環境美化)	3.5	3.6	3.4	3.6	○保護者と学校関係者からは一定の評価をされている。 ●まずは、担当者で確実に安全点検を行い、自分で営繕できるものは行うことが大切である。
	18 情報の公開	学校は、学校・学級便りやホームページ等を通して、教育活動の様子がよく分かるように努力している。	3.5		3.7	3.7	○学校便り、学級便りを定期的に発行しており、情報発信の頻度は安定している。 ●ホームページでの情報発信が課題である。
	19 地域との連携	学校は、保護者や地域の方々と密に連携をとりながら教育活動を進めている。	3.5		3.9	3.7	○田植えを始めとして地域の方に助力をいただいている行事も多く、連携が取れていると考える。
	20 資質の向上	私たちは、研修を充実させ、教師も伸びようと力量向上に努めている。			3.8	0.0	○教職員の充実感がうかがえる。 ●昨年度より0.2ポイント下がっている。「一人ひとりの子ども」の学力向上へ向けて、日々の授業に生かすことが大切である。日々の授業に生かせる校内研修の内容になっているか、再度、見直す必要がある。
	21 同僚性の発揮	私たちは、互いに協働し、教育活動の活性化に努めている。			3.7	0.0	○評価は高い。本校の規模だからこそ、協働を強め2学期以降もさらなる教育活動の活性化を図る。